

報道機関 各位

令和3年東久留米市議会第1回臨時会の

結果をお知らせします

令和3年東久留米市議会第1回臨時会が、本日（12月21日）開会され、議題でありました「市長退職の件」について、議会の同意がなされました。

このことにより、並木克巳東久留米市長は12月27日をもって退職されることとなります。

なお、このことに関連し、並木克巳市長より報道機関の皆さま宛て退職に当たっての文書がございますので、別添にて送付いたします。

【添付文書】

並木克巳市長より報道機関の皆さま宛て退職に当たっての文書 1枚

■問い合わせ先

秘書広報課長・齊藤 電話042・470・7712

報道機関 各位

この度、臨時議会においてお認め頂き12月27日をもって退職する事となりました。

報道機関の皆様には既に現在執行中の市長選挙には体調不良により次期4年間の公務を担うことは困難と判断し不出馬を表明しております。現在も市政運営に影響の無い範囲で体調にも配慮しながら公務を執り行っている状況であります。

今回このタイミングで退職した理由は、早期に新体制に移行し、一刻も早くコロナウイルス感染症や次年度への取り組みに着手して欲しいと考えたからであります。

一昨年発生した新型コロナウイルス感染症により世界は大変な危機的状況に陥り、日本国内も大変厳しい状況に陥りました。まさに100年に一度の危機と言われる事態であり、未知のウイルスに対し未だかつて経験も無く正解も分からない状況の中、市長として全力でその対応にあたり、その対策においてはこれまで最善の取り組みが出来たものと感じております。しかし、現在また新たなる変異株の発生により第6波に向け警戒を強めていかなければならないことや、来年度に向けての予算編成や喫緊の課題への対応など、一刻も早くそれらに対処する体制づくりが求められます。

そのような中で当市は市長の任期満了が1月19日であることから、選挙から市長の交代まで一月程となります。まさに今が市政運営においてとても重要な時であり、停滞は許されない時であると考え、直近の選挙で民意を得られた通常の公務を遂行できる方に速やかに引き継ぐことが最善と考えこのタイミングでの退職を決意した次第であります。

尚、3回目のワクチン接種に関しても道筋を立てる事が出来たことや、当市ではここ最近でも新たな感染者が発生していない状況下の今、新体制に移行することで早期にコロナウイルス感染症への対応や、その他の緊急時の対応に備えて頂くことを期待するものであります。

現在選挙中であり、それぞれの候補者たちの政策や声を聴き、市民の皆様がご判断して当選された方に速やかにバトンをお渡ししたいと思います。

2期に渡り市長として全身全霊で市政運営に取り組んで参りました。改めまして市長としてその責務を果たせたのも市民の皆様や議員の皆様、そして市職員をはじめ関係する全ての皆様のおかげであります。心から感謝申し上げます。

令和3年12月21日

東久留米市長

並木克巳